

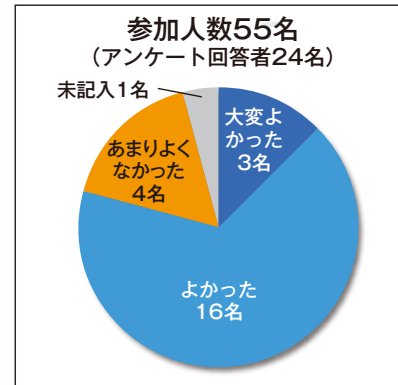
【住吉公民館】 平成30年10月30日(火) 19:00~20:30

第2部テーマ：(仮称)鈴鹿PAスマートICの開通を契機とした地域の活性化について



【アンケートでいただいた意見】

- ・市民と議会との白熱した意見交換があり、とてもよかったと思う。
- ・第2部のテーマについて、今回の場合は概要であり、具体化され次第、次回の報告会で聞くことができればありがたい。



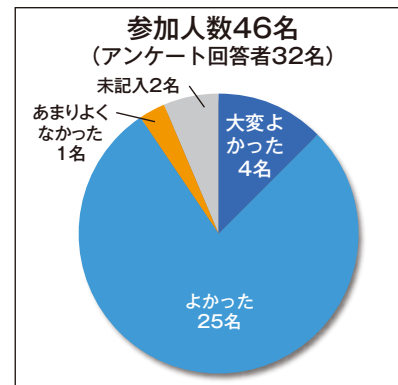
【ふれあいセンター】 平成30年10月30日(火) 19:00~20:45

第2部テーマ：公共施設マネジメントについて



【アンケートでいただいた意見】

- ・市議会議員と会う機会が少ないので、議会報告会はよい機会と思う。市議会としての考え方や市政についての思いなどを少しでも知ることは参考になる。
- ・教育への投資が将来の鈴鹿の発展につながるとの意見があり、賛同できた。



意見広聴でいただいた質問(一部抜粋)

**Q** 議会基本条例第29条の「検証結果」とは、どのようなものを指すのか。同条例第7条に「市民意見の反映」とあるが、どのように行っているのか。

**A** 議会報告会でいろいろな意見を聞いてきており、今年の夏には、高校生からも意見を聞いた。検証と、その検証をどう新しい試みに変えていくかについては、これからの課題である。アンケートなど、いろいろな手段をこれからも持っていく必要がある。これまでやってきたことをまとめるような形で、広報広聴会議の中で議論を進めていく。

(郡山公民館)

**Q** 市民にとって通年議会となったことのメリットが分かりにくい。通年議会の運営上の課題、また、メリットを具体的に説明してほしい。

**A** 通年議会のメリットは、5月に市長が招集をかけるが、その後は議長判断でいつでも開催できること。また、委員会についても年間のテーマ以外に、突発的な事項がある場合、すぐに開催できる。委員会の回数も増加している。課題としては、行政との日程調整、連携が難しい点が挙げられる。通年議会導入の市民へのメリットについては、今後結果として出てくると思う。(ふれあいセンター)

今回も貴重なご意見ありがとうございました。

広報・広聴の充実に取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

※議会報告会の記録は、各会場に配置しています。

また、議会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。